

令和4年度 第2学年(国語)年間学習計画

月	学習内容	年間学習目標	
4月	じゅんばんにならぼう つづけてみよう ふきのとう 図書館たんけん 春がいっぱい きょうのできごと ともだちをさがそう	<p>【知識及び技能】 ○日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ○順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>	
5月	いなばの白うさぎ たんぼぼのちえ じゅんじょ かんさつ名人になろう 同じぶぶんをもつかん字		
6月	うれしいことば かん字のひろば1 スイミー かたかなのひろば メモをとるとき こんなもの、見つけたよ 丸、点、かぎ		
7月	あったらいいな、こんなもの 夏がいっぱい お気に入りの本をしょうかいしよう ミリーのすてきなぼうし		
8.9月	雨のうた ことばでみちあんない かん字のひろば2 どうぶつ園のじゅうい ことばあそびをしよう なかまのことばとかん字		
10月	かん字のひろば3 お手紙 主語と述語に気をつけよう かん字の読み方 秋がいっぱい そうだんにのってください		
11月	馬のおもちゃの作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう かたかなで書くことば せかいーの話 かん字の広場4		
12月	わたしはおねえさん お話のさくしゃになろう 冬がいっぱい		
1月	ねこのこ／おとのはなびら／はんたいことば にたいみのことば、はんたいのいみのことば かん字の広場5 おにごっこ 本でのしらべ方 ようすをあらわすことば 見たこと、かんじたこと 楽しかったよ、二年生		
2月	カンジーはかせの大はつめい ことばを楽しもう スーホの白い馬  すてきなところをつたえよう		
3月			
年間授業時数			315
<p>〈授業の工夫〉 ○発声や発音、語句、文や文章、言葉遣いなどの日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、語彙を豊かにします。 ○伝え合う力を高めたり、自分の感想をもったりすることができるようにするために、単元に沿った言語活動を工夫します。</p>			
<p>〈評価について〉 ○言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識・技能を習得しているか。 ○日常生活における人となりの関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養っているか。 ○言葉がもつよさを感じるとともに、言語感覚を養い、思いや考えを伝え合おうとしているか。 以上のことを、単元ごとのテストや授業での発言内容、ノートや少人数での提出物、授業での発言内容、作文、発表、少人数の話し合い活動の様子などを基に評価します。</p>			
<p>〈学習方法など〉 ○ひらがな、かたかな、漢字の定着を図るためにドリルや学習ノートなどの家庭学習を継続します。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する力を育むために、音読カードを使って家庭学習を継続します。 ○楽しんで読書ができるよう、学校図書館の本や千早図書館図書ネット便を活用します。週に1回、朝読書の時間を設けます。</p>			

令和4年度 第2学年(算数)年間学習計画

月	学習内容	年間学習目標	
4月	※学びのとびら 1. わかりやすくあらわそう	<p><b>【知識及び技能】</b> ○数の概念についての理解を深め、計算の意味と性質、基本的な図形概念、量の概念、簡単な表とグラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ○数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり考察したりする力などを養う。</p> <p><b>【学びに向かう力・人間性等】</b> ○数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	
5月	2. たし算のしかたを考えよう 3. ひき算のしかたを考えよう ※どんな計算になるのかな？ ※おぼえているかな？		
6月	4. 長さをはかってあらわそう 5. 100より大きい数をしらべよう 6. 水のかさをはかってあらわそう		
7月	※おぼえているかな？ 7. 時計を生活に生かそう ※おぼえているかな？		
8・9月	8. 計算のしかたをくふうしよう 9. ひっ算のしかたを考えよう		
10月	10. さんかくやしかくの形をしらべよう ※新しい算数プラス		
11月	11. 新しい計算を考えよう ※九九ビンゴ		
12月	12. 九九をつくろう ※おぼえているかな？		
1月	13. 1000より大きい数をしらべよう 14. 長い長さをはかってあらわそう		
2月	15. 図をつかって考えよう 16. 分けた大きさのあらわし方をしらべよう ※おぼえているかな？		
3月	17. はこの形をしらべよう ※計算ピラミッド ※2年のふくしゅう ※新しい算数プラス		
年間授業時数			175
<p>〈授業の工夫〉 ○第1学年の学習経験とのつながりを大切にし、必要に応じて具体物や図を用いながら数学的な処理や表現の基礎となる技能が習得できるようにします。 ○問題解決の過程や結果について、数学的表現を用いて考えたり伝え合ったりする活動を取り入れます。 ○日常生活で活用する算数の良さに触れることができるように指導を工夫します。</p>			
<p>〈評価について〉 ○第1学年の学習内容を基に、基本的な数量や図形概念や意味、性質を確実に理解しているか、数理的な処理や表現の基礎となる技能を習得しているか。 ○「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」において必要に応じて具体物を操作しながら考察したり、簡潔に表現したり、適切に判断したりしているか。 ○数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしているか。 以上のことを単元ごとのテストや学習の様子、発表、ノート、計算ドリルなどを基に評価します。</p>			
<p>〈学習方法など〉 ○算数の学習内容の定着を図るために、「習熟タイム」などで既習内容の復習プリントに継続的に取り組みます。 ○計算処理の確実な定着を図るために、九九カードやドリル学習を繰り返し行い、多くの問題に触れることができるようにします。</p>			

令和4年度 第2学年(生活)年間学習計画

月	学習内容	年間学習目標
4月 5月 6月 7月 8・9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	発見！町へ とび出そう  大きく そだて みんなの 野さい 生きものといっしょに 夏休みにしたいことは…  大きく そだて みんなの 野さい あそびのたつ人 あつまれ  わたしの すてきが はばたく	<b>【知識及び技能】</b> ○活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。  <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ○身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。  <b>【学びに向かう力・人間性等】</b> ○身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。
年間	105	
<b>〈授業の工夫〉</b> ○見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどの直接働きかける学習活動、また、そうした活動の楽しさやそこで気付いたことなどを言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法によって表現する学習活動を主体的に行います。 ○遊びを通した総合的な学びを生かし、具体的な活動や体験を通して感性を豊かに働かせるとともに、身近な出来事から気付きを得て考えるようにします。 ○他教科等との関連を図り、子供たちの生活とつながる学習活動を取り入れます。 ○活動や体験を十分に行い、自分の中の気付きを明確にしたり、それぞれの気付きを共有し関連付けたりして、言葉などにより振り返ります。		
<b>〈評価について〉</b> ○具体的な活動や体験、伝え合いや振り返りの中で、自分自身、身近な人々、社会及び自然がもっている特徴や本質的な価値、それぞれの関係や関連に気付くこと。 ○身近な人々や、社会及び自然と直接関わり合う中で、生活上必要な習慣や技能を身に付けること。 ○児童が自分自身や自分の生活について、学習活動により、分析的に考えること、創造的に考えること。 ○気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、多様な方法によって、他者と伝え合ったり、振り返ったりすること。 ○思いや願いの実現に向けて、身近な人々、社会生活及び自然に働きかけ、意欲や自身をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする事。 以上のようなことを単元ごとに総合的に評価します。		
<b>〈学習方法など〉</b> ○試行錯誤したり繰り返したりして、対象に何度も関わりながら体全体で学びます。 ○伝え合い交流する場で、一人一人の気付きを全員で共有し、全員で高めていきます。 ○見付ける、比べる、例える、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を行い、活動や体験したことを言葉などによって振り返るようにします。 ○多様性を生かし、互いのよさやそれぞれの気付きを認め合えるようにします。		

## 令和4年度 第2学年（音楽）年間学習計画

月	学習内容	年間学習目標
4月	○音楽で みんなと つながろう メッセージ ロンドンばし 小犬のピンゴ かくれんぼ	<p>[知識及び技能] ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。</p> <p>[思考力、判断力、表現力等] ○音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。</p> <p>[学び向かう力、人間性等] ○楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。</p>
5月	○はくのまとまりを かんじとろう はしの上で たぬきのたいこ ミッキーマウスマーチ/メヌエット	
6月	○ドレミで あそぼう ドレミの うた かっこう かえるのがっしょう ぶっかりくじら	
7月	せんりつあそび	
9月	○せいかつの中にある 音を 楽しもう さがして つくろう 虫の こえ	
10月	○リズムを かさねて 楽しもう この 空とぼう いるかは ざんぶらこ 山のポルカ	
11月	○くりかえしを 見つけよう かねがなる おまつりの音楽 トルコ こうしんきょく	
12月	○いろいろな がっきの 音を さがそう だがっきパーティー がっきで おはなし かぼちゃ	
1月	○ようすを おもいうかべよう あのね、のねずみは たまごの からを つけた ひなどりの パレエ タやけこやけ 小ぎつね	
2月	○日本の うたで つながろう ずいずいずっころばし/あんたがたどこさ なべなべそこぬけ	
3月	ばんそうあそび ○みんなであわせて 楽しもう どこかで こぐまの 二月 エンターテイナー はるがきた  国歌「君が代」	
<p>&lt;授業の工夫&gt; ○音楽表現を楽しめるように、段階的に学習します。 ○身の回りの様々な音楽に親しみ、曲や演奏の楽しさを得られる教材を用意します。また、タブレットPCを活用します。 ○友達と音楽活動をする楽しさを大切にしながら、自分の感じたことや表現を楽しく伝え合う場を多く設定します。</p>		
<p>&lt;評価について&gt; ○題材の表現や技能だけでなく、楽しく音楽活動に取り組んでいるかを評価します。 ○音楽表現を考え、どのように歌ったり、演奏したりするか工夫している様子を評価します。 ○友達との音楽活動を楽しみながら取り組んだり、音楽に対する様々な感じ方や考え方を認めたりする様子を評価します。</p>		
<p>&lt;学習方法など&gt; ○音楽会や音楽朝会など、録音・録画も活用し、可能な範囲で発表の場を設けます。</p>		

令和4年度 第2学年（ 図工 ）年間学習計画

月	学習内容	年間学習目標
4月	うつしかたちから	<p>【知識及び技能】</p> <p>○対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通し気付いている。手や体全体の感覚などを働かせて材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>○形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、楽しく発想や構想をしたり、身の回りにある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。</p> <p>【学びに向かう力】</p> <p>○つくりだす喜びを味わい楽しく表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。</p>
	チョコチョコかざり	
5月	ふしぎなたまご	
	ことばのかたちから	
6月	にぎにぎねんど	
	たのしかたよどきどきしたよ	
7月	おはなしからうまれたよ	
9月	ごちそうパーティー	
	ともだちハウス	
10月	いろいろなかみのかたちから	
	いろのみえかたむげんだい	
11月	ひかりのプレゼント	
	はこでつくったよ	
12月	ぺったん、コロコロ	
	くるくるストロー	
1月	つないでつるして	
	はさみのアート	
2月	ざいりょうのひらめき	
	くしゃくしゃぎゅ	
3月	さくらがさくころ	
	ならべてならべて	
年間授業時数		70
<p>〈授業の工夫〉</p> <p>○主体的に造形活動に取り組めるように、目標を明確に示していきます。</p> <p>○各学年の発達段階を捉え、題材を組み立て、表現の楽しさを味わえるようにしていきます。</p>		
<p>〈評価について〉</p> <p>○一人一人の活動の様子や作品の制作過程を見ていきます。</p> <p>○一人一人が見方や感じ方を広げていけるように、感想を書いたり、自己評価を行ったりしていきます。</p>		
<p>〈学習方法など〉</p> <p>○夏休みには、ポスターなどご家庭で取り組める内容をお知らせします。</p>		

## 令和4年度 第2学年（ 体育 ）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4月	体ほぐしの運動遊び 走・跳の運動遊び(かけっこ)	<p>【知識及び技能】 ○各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ○各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>【学びに向かう力・人間性】 ○各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動したり、健康・安全に留意したりして、意欲的に運動する態度を養う。</p>
5月	ゲーム(鬼遊び) 固定施設・鉄棒を使っの運動遊び	
6月	マットを使った運動遊び 体ほぐしの運動遊び 体カテスト	
7月	水遊び	
8・9月	水遊び リズム遊び	
10月	走の運動遊び 跳び箱を使った運動遊び	
11月	ボールを使った運動遊び(ベースボール型に発展) 跳の運動遊び	
12月	多様な動きを作る運動遊び	
1月	体づくりの運動遊び(用具の操作) 多様な動きを作る運動遊び(縄跳び・持久走)	
2月	ゲーム(ネット型に発展) 表現遊び	
3月	ゲーム(ゴール型に発展)	
<p>〈授業の工夫〉</p> <p>○個の実態に応じた課題の達成に向けて挑戦できるように場の工夫をしたり、学習カードを用意したりして、一人一人の意欲や体力・技能を伸ばすようにします。</p> <p>○みんなが楽しめるようなルールや運動を工夫して考え、児童にわかりやすく提示するようにします。</p> <p>○安全に遊ぶための決まりやルールを考えさせるようにします。</p>		
<p>〈評価について〉</p> <p>○運動遊びの基本的な動きについての評価のほかに、学びに向かう力、人間性、思考力、判断力、表現力を評価します。</p> <p>○学習カードを用いて自分の学習を振り返ったり、行った工夫を見つけたりするような自己評価や、友達同士の相互評価を行います。</p> <p>○約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場の用具や安全に気を配ったりする様子を観察し、評価します。</p>		
<p>〈学習方法など〉</p> <p>○なわとび月間、マラソン月間を設け、体力づくりを行います。</p> <p>○授業時間は運動量をしっかり確保します。学習カードを活用し、運動遊びをする場や、練習の仕方などを自分の力で工夫したり選択できるようにします。</p>		

令和4年度 第2学年( 特別の教科 道徳 )年間学習計画

月	学習内容	年間学習目標
適宜		(「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」) 第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
4	節度、節制 礼儀 規則の尊重	<p>【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 という3つの観点を想定し、教材に応じてそのうちの2つの観点を取り上げている。</p> <p>(1)年間を以下の4つの「学習のまとめり」に分けています。 ・4月から5月の学習のまとめり…自己を見つめる ・6月から9月の学習のまとめり…他者との関わりを見つめる ・10月から12月の学習のまとめり…成長する自己と向き合う ・1月から3月の学習のまとめり…より広く人や社会との関わりについて考える</p> <p>(2)学習指導要領に示された内容項目(第1・2学年)は、それぞれの学年において網羅されています。</p>
5	よりよい学校生活, 集団生活の充実 善悪の判断, 自律, 自由と責任 友情, 信頼	
6	個性の伸長 感謝 家族愛, 家庭生活の充実 親切, 思いやり	
7	生命の尊さ 自然愛護	
9	よりよい学校生活, 集団生活の充実 公正, 公平, 社会正義 礼儀 正直, 誠実	
10	規則の尊重 希望と勇気, 努力と強い意志 個性の伸長 勤労, 公共の精神	
11	親切, 思いやり 公正, 公平, 社会正義 善悪の判断, 自律, 自由と責任 感動, 畏敬の念 生命の尊さ	
12	勤労, 公共の精神 家族愛, 家庭生活の充実	
1	節度, 節制 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度 国際理解, 国際親善	
2	生命の尊さ 正直, 誠実 感謝	
3	友情, 信頼 希望と勇気, 努力と強い意志	

年間授業時数 35

〈授業の工夫〉

・道徳の授業では、生活経験の異なる児童一人一人が教材文の登場人物の生き方について話し合っていることを通して、自己の生き方について考えを深めていくことを大切にします。  
・道徳コーナーの設置、道徳ファイルの活用を通して学習の連続性を重視し、振り返りや自己評価、道徳的価値の理解を深める一助とします。チームティーチング・ゲストティーチャーを有効に活用し授業の活性化に努めます。

〈評価について〉

道徳科の目標「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習」が実現できていたかを評価します。そのために、授業中の発言や話し合いの様子、ワークシートへの記述をもとに肯定的評価をします。

〈学習方法など〉教科書とワークシートを使って学習します。

学習の流れ

①教材文の状況を把握する②登場人物の思いを共通理解する③授業の中心で考えさせたいこと(場面)について、より深く話し合えるよう話し合い活動を行う。④これまでの自分を振り返り、自己を見つめる。